

EXPO Caféの本 | Vol.2

2007 03.25 発売号

愛知万博の心を持って始めよう!

[インタビュー]
小川巧記・鉄崎幹人・江尻吉彦・赤池 学

[MERRY子どもプロジェクト]
清水國明 & 水谷孝次 & EXPO Caféによるプロジェクト

[Seeds of EXPO]
愛・地球博を支えた「市民参加」

[Memories of You]
モノづくりランドシンフォニア

長久手愛知県館 (2005年5月25日〜7月24日)
○市町村催事
○県民参加催事



MERRY NEWS

MERRY子どもプロジェクトのアートディレクター・水谷孝次さんが、愛知万博で行った「Merry EXPO」や「Merry Project」で、昨年、多くの賞を受賞されました。そのすべてをご紹介するとともに、受賞に際し水谷さんがウェブサイトにかかれたメッセージの中から印象的なものを転載させていただきました。読者の皆さんの心にも、Merry Projectに対する水谷さんの思いがしっかり届くのではないのでしょうか。

受賞歴

- 1) 「第14回桑沢賞」桑沢デザイン・オブ・ザ・イヤー賞 [Merry Project / Merry EXPO]
- 2) 財団法人日本建築デザイン振興会「第50回グッドデザイン賞」受賞 [Merry Project / Merry EXPO]
- 3) eco japan cap「第1回エコ・アート大賞」エコ・コミュニケーション賞 受賞 [MERRY PROJECT]
- 4) 東京アートディレクターズクラブ [2006年度ADC賞]ノミネート [MERRY EXPO BOOK]
- 5) 富山県立近代美術館「第8回 世界ポスター」エントラトヤ2006」入選 [MERRY EXPO POSTER]
- 6) 社団法人日本デザイン協会「第40回SDA賞」入選 [Merry Expo in Aichi + Merry Expo in Tokyo]
- 7) 日本グラフィックデザイナー協会 JAGDA [Graphic Design in Japan 2007]入選 [MERRY EXPO BOOK]
- 8) 東京タイポディレクターズクラブ [OTDC賞] 入選 [MERRY EXPO BOOK]



グッドデザイン・プレゼンテーション (GDP) 2006開催

8月23日から26日まで「グッドデザイン・プレゼンテーション (GDP) 2006」が東京ビッグサイトで開催されました。今年のGDPは、Gマーク設立50周年を記念、テーマは「THINK GOOD?」ビッグサイト一同に並ぶ「GOOD」の中に「Merry Project / Merry EXPO」があった。機能的なデザインの中に、1つだけどこか深い。何か変だ。しかし「手作り」での心象にふれるデザイン、これもグッドデザインではないか?と思う。23日のオープニングパーティでは、多くの人に取って頂かれ、絶賛された。みんな「笑顔がかわいいこの本が欲しい欲しい」と言っている。人がこれ程感じ、感動してくれるMerryなデザイン。大成功。本当にMerryな夜であった。Merryのブースにはいっぱい人が来て自然と笑顔いっぱいになった。ある建築家は「世間でテロや貧困、災害など問題が混沌としていることに、時折気持ちが悪くなることありますが、Merryを見させていただき、人間の幸せの根本は複雑なことではなく、笑顔と小さな夢や大切なものがあることといったようなことかなあ、と感じて何だか嬉しくなりました。」と...



「Merry Project / Merry EXPO」のデザインが記念すべき第50回のグッドデザイン賞を受賞しました。

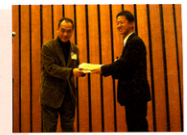
ところで、GOODなDESIGNとはどんなデザインでしょうか?機能的なデザインばかりがひびくグッドデザインプレゼンテーションの中で、1つだけ手作りの本が集められた。笑顔のコミュニケーションプロジェクト。随分グッドデザイン賞、Gマークも変わったものです。いずれにせよデザインは生活と社会をもっとGOODに変えていって欲しいと思う。審査員からのコメントは「99年からの継続した仕事であり、様々な問題に直面している現代の社会において、世界の国々の人に、笑顔や幸せを問う、続けていく強い思いや、注ぎ込まれた膨大なエネルギーが感じられる。また、ダンボールをリユースした本など、エコロジカルな視点も考えられている。」とのこと。また、評価ポイントは (1) 誠実である (2) 魅力が感じられる (3) 人と人との新しいコミュニケーションを提案している (4) エコロジーデザインを実践している (5) 持続可能な社会の実現に貢献している、ということらしいです。また応援メッセージは愛知県の橋本利さんより「生きるために大切なことなので日頃忘れがちな「幸せとは何か」ということを考えさせられました。Merry Projectは「Merry」と「笑顔」をテーマに世界の人々をつなぐ素晴らしい活動だと思います。それぞれ置かれた環境や立場はさまざまですが、笑顔の持つ力は万国共通。世界中の人々のお互いの理解が深まり、笑顔があふれる世界にしたものです。グラフィックデザインという職能をコミュニケーションアートに昇華させたこの取り組みは、まさにグッドデザイン。今後の更なる活躍を祈念しています。」と頂きました。ありがとうございました。



MERRY NEWS

Eco Japan Cup 2006実行委員会よりMerry Projectが第1回エコ・アート大賞、エコ・コミュニケーション賞を頂きました。

「アートで世界を変えていこう。」をコンセプトに、エコロジーを促すアートのコンテスト。私は、この「アート」で世界を変えていけるという未来への夢があります。もし、戦争のために使われているお金を全部、環境問題と賞しさを解決するために使えば、この地球は素晴らしい国になる。たとえば、笑顔でコミュニケーションして解決すること、争いをしないこと、他人を尊重すること... Merry Projectは、1999年秋から始めました。「21世紀は笑顔のコミュニケーション。平和と環境が大切。」2000年のお正月はミニアルバムとしてラフォーレミュージアムで「あなたにとってMerry(幸せ)とは何ですか?」という質問を街角の人に投げかけ、1,000人以上の笑顔とメッセージをポスターにしました。2001年、ロンドンとマンチェスターと東京をリアルタイムでインターネットで結び、笑顔とメッセージを、携帯電話で交換しあうアートを、そして2002年、負の遺産のある街をMerryな環境にするプロジェクト。



震災後の神戸では、再開現場や主要駅など復興中の街を明るくMerryにしました。2003年「Merry in NY」では7月10日のNYで集めた笑顔とメッセージを六本木で映像のインスタレーションとして発表。214、オープニングには、NYと六本木をNITの最新技術で繋ぎ、同世代のNYと東京の女の子がコミュニケーションして意見を交換。フリーペーパーは全世界に配布しました。同年、Merry in Tokyoでは東京の街全体を会場として、六本木、汐留、丸の内、日比谷の4か所で開催のインスタレーション。六本木ホテルの壁面に巨大な笑顔で覆い、その足元でグリーンアップ。渋谷では若者1,000人を集めて、北海道で650,000人規模のグリーンアッププロジェクトを行い、街中に笑顔が溢れ渡りました。



そして、2005年、日本の愛知県で行われたEXPO2005において、Merry EXPOを展開。世界23か国20,000人以上の人々の笑顔とメッセージを映し出し、笑顔のコミュニケーションを行いました。Merry EXPO Clean up Projectは地球環境を元から見直し、自分たちが出来ることから世界を変えていこう、と始まった企画。撮影で訪れた23か国・32都市でも実施。また会期中に東京と名古屋でモリゾーキックも参加して2回ずつ、4回実施。またEXPOのため、世界各地から集まったダンボールをリユースし、1冊ずつ手製本として、世界各地へ思い届ける「Book of global exchange」プロジェクトへ。

そして2006年はMERRYな子どもの森づくり。100年後の子供たちにバナの森をプレゼントしよう。今、地球はすごい勢いで木が切られ、森がなくなり、雨が降らなくなり、すごい勢いで砂漠が広がっている。これからの子どもたちのためにも、良い環境を残すのは私たちの役目である。



Merryの夢は、65億人の笑顔を取材して世界(地球)をMerry(幸せ)にすること。これが私にとってのエコ・コミュニケーションアートである。

TOPICS

MERRY WEB SITE RENEWAL OPEN!! www.merryproject.com

MERRY PROJECTのWEBサイトを4月20日に大リニューアルします。目指すは、世界のMERRYの大コミュニケーション。世界中のみんなのMERRYな笑顔とメッセージが、空間を超えてコミュニケーションできるサイトです。リニューアルされたホームページの入り口には、地球をシンボルとした、世界中のみんなの笑顔が回るMERRYの「グリーンアップ」がはじかれます。新しいコンテンツの目玉は、Google Mapのシステムを利用した、写真とメッセージの投稿機能「YOUR MERRY MESSAGE」。メールアドレスを登録するだけで、誰でも、世界地図の中から自分のMERRYを投稿できます。もちろん、他の人が投稿したMERRYコメントも、お気に入りとして保存することもできます。また、これまで撮影してきた世界中の2万人以上の笑顔も、撮影日時や場所ごとに検索できる機能「MERRY ARCHIVES(メリアーカイブス)」も完成です。世界中の人々とMERRYを共有して、分け合って、もっともっとMERRYの輪を広げていこうという取り組みです。ぜひお楽しみください。www.merryproject.com

